

## 20xx年度 第x回 新興再興感染症対応訓練

20xx年xx月xx日(x) 13:00~17:00(目安)

### 訓練その1：急変時の対応 13:00~15:00(目安)

※病室に搬送してベッドに移したという前提で、初期対応する場面からスタートします。

#### 目的

- 新型インフルエンザ診療における基本的PPEの確認
- 電動ファン付呼吸用保護具(PAPR)着脱手技の確認
- 急変時の対応
- 重症患者対応時の感染対策の確認
- ポータブルレントゲン撮影手順の確認
- 血液検査時の感染対策の確認

#### 想定

呼吸不全を来したMERS疑い患者が隔離病棟に措置入院となった。

初期対応時：意識レベルJCS I-1、GCS15点。酸素3LマスクでSPO<sub>2</sub>98%。

採血後、急変する。

#### プログラム

13:00~13:15 開棟準備(最終チェック)

13:15~13:20 訓練の説明

13:20~13:40 PPE等準備

13:45~14:45 訓練の実際

14:45~15:00 振り返り・実習評価シート記入・片付け(時間により振り返りは後で)

#### 配役

総指揮者：xx(医師)

看護師リーダー：xx

外回り看護師：xx(記録) xx(PAPRを脱衣を手伝う)、他リーダーの指名

病室医師①(初期対応)：xx(医師)→簡易PPE

病室医師②(挿管する役)：xx(救急科医師)→フルPPE+PAPR

病室看護師①(初期対応)：xx→簡易PPE

病室看護師②③(急変対応)：xx、xx→フルPPE+PAPR

病室看護師④(急変後救急カートを持ち中に入る)：Nリーダー指名→簡易PPE

その他、カメラ撮影係など  
実習手順

原則：すべての行動は総指揮者の指示に従う

初期対応、採決までは**医師①、看護師①**で対応。

採血を検査科に依頼した後急変あり、ステーションに報告すると共に応援を要請する。

急変の報告を受け、救急カートを持ち**看護師④**が病室へ入る。**医師①、看護師①、看護師④**

は、応援が来るまで VBM で換気。**医師②、看護師②③** PAPR を装着し病室へ入る。

**医師①、看護師①、看護師④**は PAPR を付けているスタッフと交代し、総指揮者の指示に従って病室を出る（PPE 脱衣は 3 人で確認し合う）。

**医師②**は挿管が必要と判断し**看護師②③**の介助のもと実施。挿管後 X-P を依頼。レントゲンが OK であることを確認。総指揮者の指示に従って病室を出る。

PAPR の脱衣は脱衣介助者に手伝ってもらう。

#### PPE 装着

時間：15～20 分

内容：簡易 PPE or フル PPE、PAPR の着用手順を確認

#### 血液検査

時間：10 分

内容：①患者採血

②検査技師が新感染症病棟内の機器で検査

#### 急変対応

時間：10 分

内容：救急カートの要請、人員要請など

#### 気管挿管手技

時間：20 分

内容：実際の挿管手技を行う

#### ポータブルレントゲン撮影

時間：15 分

内容：①放射線技師にポータブルレントゲン撮影を要請

病室から外回り→医師へオーダー入力依頼→レントゲンへ連絡

②新感染症病室での撮影

③レントゲンの確認

レントゲン要請 PHS：5105

#### 5. PPE の脱ぎ方を確認

場所：病室、前室

時間：10～15 分

内容：フル PPE、PAPR、簡易 PPE を脱ぐ順番、脱ぎ方を確認

実習評価シート

実習プログラムを改善するために用います。気づいた点をお書きください。

1. PPE、PAPR の装着

2. 急変対応

3. レントゲン撮影、血液検査

4. 挿管手技（介助も含む）

5. PPE、PAPR の脱ぎ方（介助も含む）

その他